HITACHI
Inspire the Next

2014年7月

日立 業務用・産業用除湿機

キープドライ

納入事例集
第4版

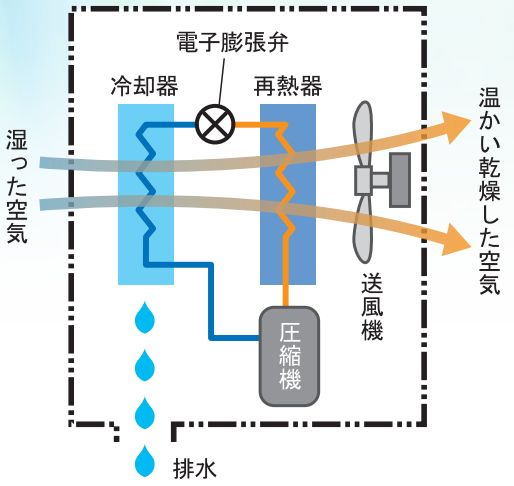
日立 業務用・産業用除湿機 キープドライ

様々な分野の除湿・乾燥用途にお役に立ちます。

工場や倉庫、図書館など多くの場面で湿度管理が求められています。
「日立業務用・産業用除湿機」は、カビの抑制など湿気による品質劣化の軽減や乾燥など、様々な湿度管理のためのお手伝いをいたします。

除湿機の原理 (再熱専用機の場合)

- 冷凍サイクルを利用した除湿機です。
- 湿った空気は、冷却器により冷却され、飽和状態になった水分をドレン水として回収し除湿します。
- 冷却された空気は、再熱器により加温され低い湿度の空気となり除湿機より吹出されます。
- 室内の温度上昇を防ぐには、室外機のある冷却機能付機をご利用ください。



INDEX

機種構成表 …… P.3

納入事例 …… P.5

納入分野	納入先
食品 水産	・菓子(煎餅)加工場 …… P.5 ・惣菜加工場 …… P.7 ・製麺工場(手延べ麺の乾燥) …… P.9 ・製麺工場(熟成庫の除湿) …… P.11 ・水産加工場 …… P.13 ・製氷工場 …… P.15 ・食品包装工場 …… P.17
精密機器 工業	・精密機器保管室 …… P.19 ・鋼板加工工場 …… P.21 ・カメラ部品 品質測定室 …… P.23
農業 木材乾燥	・トマト栽培用ビニールハウス …… P.25 ・たまねぎ保管倉庫 …… P.27 ・干し柿乾燥室 …… P.29 ・木材乾燥室 …… P.31
倉庫・書庫	・医療品倉庫 NEW …… P.33 ・オフィス書庫 …… P.35 ・文化財収蔵庫 …… P.37
その他	・クリーニング工場 …… P.39 ・レーザー研究室 …… P.41 ・水質検査室 …… P.43 ・水力発電所 …… P.45 ・滅菌消毒室 …… P.47 ・介護用具乾燥室 …… P.49 ・研究室(電子顕微鏡使用) …… P.51

機種選定 …… P.53

製品一覧 豊富な機種構成

ご使用になる条件に合わせて最適な機種を選び、大切な商品や設備の品質管理にお役立てください。

再熱専用機

製品区分	小型コンパクトタイプ	床置タイプ
外観		
型式	● RK-NP08PV 0.6kW（0.8馬力） ● RK-NP08PV(B) 0.6kW（0.8馬力）	● RK-NP2L1 1.5kW（2馬力） ● RK-NP3L1 2.2kW（3馬力） ● RK-NP5L1 3.75kW（5馬力） ● RK-NP8L1 5.5kW（8馬力） ● RK-NP10L1 7.5kW（10馬力）
特長	● DCインバータースクロール圧縮機を搭載し、小型ながらパワフル除湿を実現 ● 電源は単相100V仕様 ● 操作性・運転機能・応用機能が充実	● 除湿能力と省エネ性を向上 ● 充実のオプション部品 ● サービス性の向上 （注）吹出空気温度が吸込空気温度よりも上昇します。
オプション部品	● 移動用ハンドル ● キャスター ● 丸ダクト ● 中性能フィルター ● キャスターワゴン	● プレナムチャンバー ● 丸ダクト接続用ダクトチャンバー ● ビニールダクト ● コネクタ付コード ● 背面吸込ダクトセット ● ロングライフフィルター（交換用） ● ロングライフフィルター（抗菌加工） ● 高性能フィルター（比色法65%） ● 脱臭フィルター ● コントロールタイマー ● 木台 ● 操作スイッチ塞ぎカバー ● ベースカバー ● ペアリモコン用リモコンスイッチ
同等機種掲載ページ	● 5ページ ● 7ページ ● 23ページ ● 35ページ ● 37ページ ● 41ページ ● 43ページ ● 49ページ	● 9ページ ● 15ページ ● 21ページ ● 25ページ ● 29ページ ● 31ページ ● 33ページ ● 39ページ ● 43ページ ● 45ページ

小型コンパクトタイプ 型式記号のご案内

RK－NP 08 P V (B)

- RK：除湿機型式（RK：室内ユニット）
- NP：冷媒（NP：R410A）
- 08：定格出力（馬力）
- P：静圧（P：直吹型）
- V：駆動方式（V：インバーター）
- (B)：色（(B)：メタリックブラック／なし：ベージュ）

冷却機能付機

製品区分	床置タイプ	天井埋込セパレートタイプ
外観		
型式	**室内機** ● RK-NP2LT1 1.5kW（2馬力） ● RK-NP3LT1 2.2kW（3馬力） ● RK-NP5LT1 3.75kW（5馬力） ● RK-NP8LT1 5.5kW（8馬力） ● RK-NP10LT1 7.5kW（10馬力） **室外機** ● RCR-NP2T（2馬力） ● RCR-NP3T（3馬力） ● RCR-NP5T（5馬力） ● RCR-NP8T（8馬力） ● RCR-NP10T（10馬力）	**室内機** ● RK-NP3CT 2.2kW（3馬力） ● RK-NP5CT 3.0kW（5馬力） **室外機** ● RAS-NP3T（3馬力） ● RAS-NP5T（5馬力）
特長	● 冷却能力と省エネ性を向上 ● 冷却除湿と再熱除湿が可能な温度調節機能付き （注）再熱除湿運転時、吹出空気温度が吸込空気温度よりも上昇します。 （天井埋込セパレートタイプは、温度上昇を抑制します。）	
オプション部品	● プレナムチャンバー ● 丸ダクト接続用ダクトチャンバー ● ビニールダクト ● コネクタ付コード ● 背面吸込ダクトセット ● ロングライフフィルター（交換用） ● ロングライフフィルター（抗菌加工） ● 高性能フィルター（比色法65%） ● 脱臭フィルター ● コントロールタイマー ● 木台 ● 操作スイッチ塞ぎカバー ● ベースカバー ● ペアリモコン用リモコンスイッチ	● プレナムチャンバー ● 外板化粧キャビネット ● ロングライフフィルター ● ロングライフフィルター（抗菌加工） ● 高性能フィルター（比色法60%・90%） ● 脱臭フィルター ● ドレンアップメカ
同等機種掲載ページ	●13ページ ●17ページ ●19ページ ●27ページ ●51ページ	●11ページ ●47ページ

床置タイプ 型式記号のご案内

RK－NP 2 LT 1

除湿機型式	冷媒	定格出力	タイプ	モデルチェンジナンバー
RK：室内ユニット	NP：R410A	馬力	L：再熱専用機（再熱） LT：冷却機能付機（再熱・冷却）	

天井埋込セパレートタイプ 型式記号のご案内

RK－NP 3 CT

除湿機型式	冷媒	定格出力	タイプ
RK：室内ユニット	NP：R410A	馬力	CT：冷却機能付機（再熱・冷却）

食品工場 煎餅加工場内の除湿

納 入 先

煎餅製造会社 様

海老煎餅を製造・販売しています。煎餅製造の最終工程である切断・袋詰めをする作業場に小型除湿機を納入しました。

RK-NP08PV

納入先情報

●所 在 地：愛知県
●業　　種：海老煎餅 製造販売
●対象面積：切断・袋詰め作業場 約25㎡
●納入時期：2009年 7月

納入製品

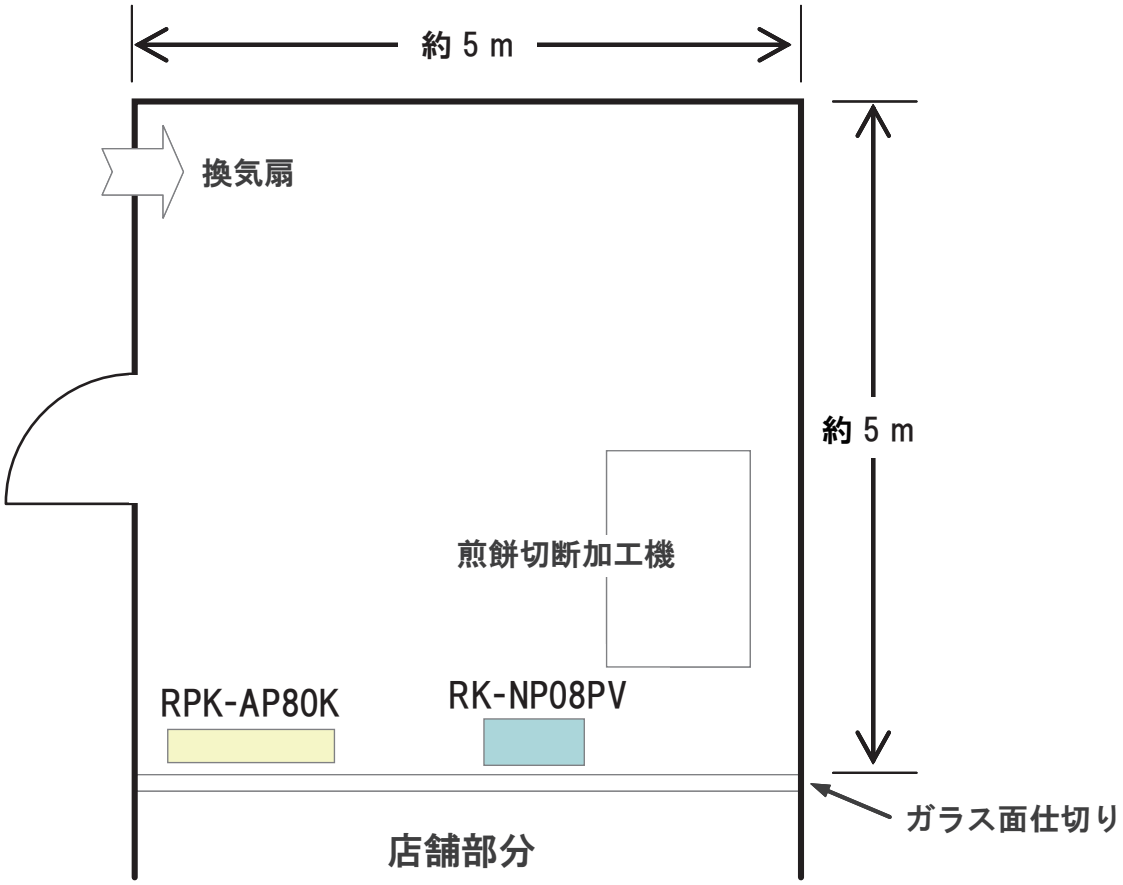
RK-NP08PV　1台

その他
壁掛け用パッケージエアコン(RPK-AP80K) 納入

背　景

作業場はプレハブ式の建物で、ドアの開閉頻度が多く外気の影響を受けやすい環境です。
そのため特に夏期・梅雨時期には湿度70%に達するほど大変高湿になります。
商品（煎餅）は非常に湿気を嫌うためその対策として除湿機を納入しました。

●煎餅切断・袋詰め加工場 約25㎡



RPK-AP80K

食品・水産　食品工場

惣菜加工場の除湿

納 入 先

食品製造加工場 様

惣菜の製造加工・卸販売会社です。
サンドイッチの具材となるカツやコロッケをカットする「切り込み室」に除湿機を納入しました。

納入先情報

●所 在 地：静岡県 浜松市
●業　　種：食品製造加工会社
●対象面積：惣菜カット作業室 約12㎡
●納入時期：2009年 7月

納入製品

RK-NP08PV　1台
オプション品：キャスターワゴン(CW08-1)

その他
パッケージエアコン(天カセ4方向) 設置あり

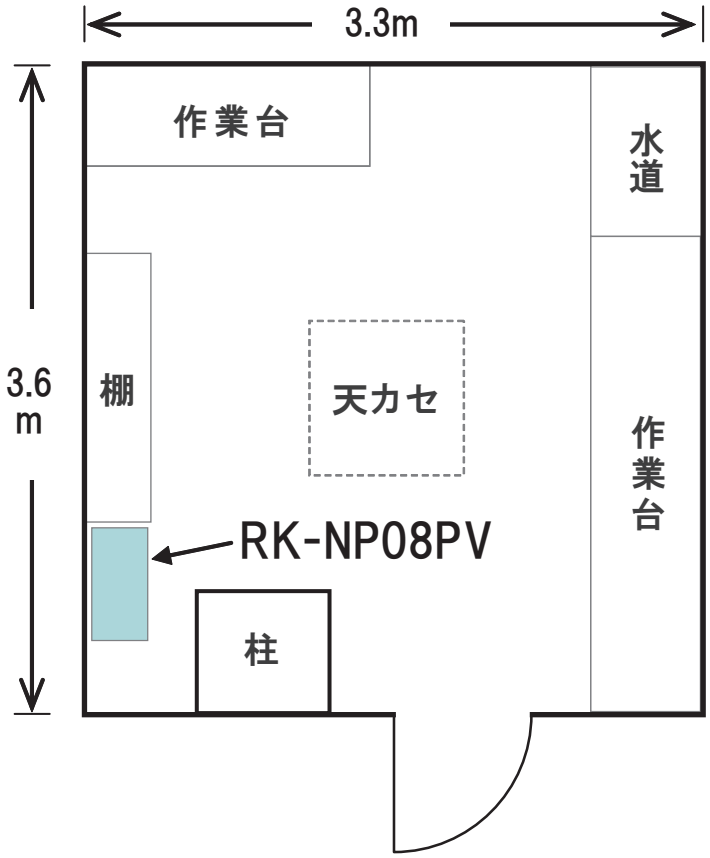
背　景

作業終了後に床を水洗浄していますが、部屋の構造上水はけや換気が非常に悪く、湿気がこもりやすく乾燥しにくい環境です。そのため部屋のカビ対策の一環として除湿機を導入しました。また、工場は作業別に部屋が分かれており、各部屋に日立パッケージエアコンを多数採用いただいています。

使 用 状 況

毎日、作業終了後に床洗浄を行い、その乾燥のために翌朝まで夜間運転をしています。
設置当初はドレンタンクを使用していましたが、水量が多いため現在は直接排水しています。

●惣菜 切り込み室 約12㎡



食品・水産　製麺工場 手延べ麺の除湿乾燥

納 入 先

前川製麺所 様

三重県大矢知地区は朝明川の水と鈴鹿山脈の気候に恵まれ、古くから手延べそうめんの生産が盛んに行われてきました。前川製麺所様は創業から100年以上にわたり麺を作り続け、現在も手延べそうめん・うどん・冷麦を全国へ出荷しています。

納入先情報

●所 在 地：三重県 四日市市
●業　　種：手延べ乾麺製造
●対象面積：約135㎡
●納入時期：2010年 9月

納入製品

RK-NP8L　2台
オプション品：プレナムチャンバー

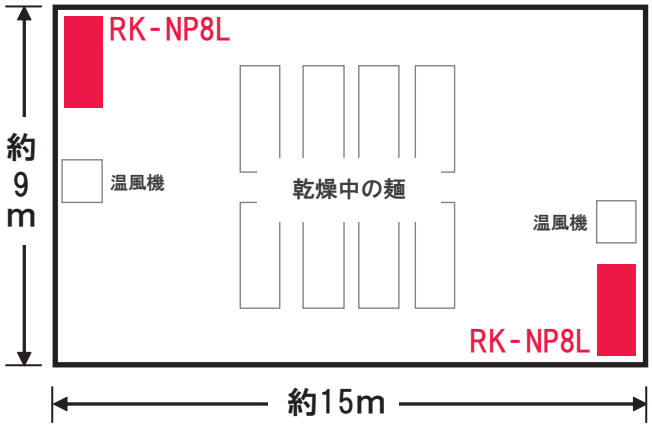
背　景

手延べ麺の製法は手打ち麺と異なり生地を引っ張り延ばすことで細い麺の状態にします。そして麺を張った状態のままで吊り下げ約20時間かけて乾燥させますが、その乾燥のために除湿機を使用しています。乾燥作業には温風機も併用し、季節や乾燥状態によって温風機のみ、除湿機のみ、または同時に運転するなどを使い分けることにより室内の温湿度と麺の乾燥状態を管理しています。

使 用 状 況

麺の乾燥状態は季節やその日の天候によって変化しますが、概ね室温は20℃を適温とし、湿度設定約60～70%で運転します。 20時間の乾燥時間のうち除湿機は約2～3時間使用することが多く、冬期は温風機で温度を上げてから除湿機を運転し、夏期は除湿機を中心に使用しています。

●麺の乾燥室　約135㎡



RK-NP8L

麺を延ばす作業

延ばした麺を乾燥させているところ

完成した商品

製麺工場 麺の熟成庫の除湿乾燥

納 入 先

製麺工場 様

そば処として有名な山形県で乾麺を製造している工場です。低温乾燥という手法を取り入れ、そばやそうめんをホテルや料理店などへ出荷しています。麺を乾燥させる前に麺生地を熟成させる工程がありますが、その熟成専用庫の衛生管理のために除湿機を導入しました。

RK-NP3CT

納入先情報

●所 在 地：山形県
●業　　種：乾麺製造
●対象面積：製麺工場内 熟成専用ケース 約2.4㎥
●納入時期：2010年 9月

納入製品

天井埋込セパレート型

RK-NP3CT　1台　※天吊り仕様
RAS-NP3T　1台
オプション品：フィルターボックス

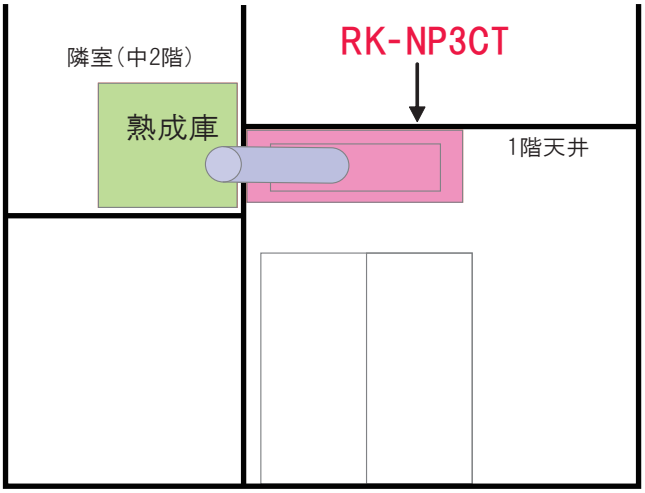
背　景

こちらの工場では、乾麺の完成までに ①材料を混ぜ合わせる ②練りあがった麺生地を帯状に成形する ③その状態で生地を熟成させる ④薄く伸ばして一定の麺の幅（太さ）にカットする ⑤最後に乾燥させる という工程があります。③の工程では専用ケース（熟成庫）の中で生地を熟成させることでより味わい深い麺に仕上がります。熟成庫の中は生地が乾燥しないように湿度を高くしますが、麺生地が入っていない間は衛生管理のために除湿機を使用して乾燥させています。また作業スペースを確保することから、天吊りタイプの除湿機を採用しました。

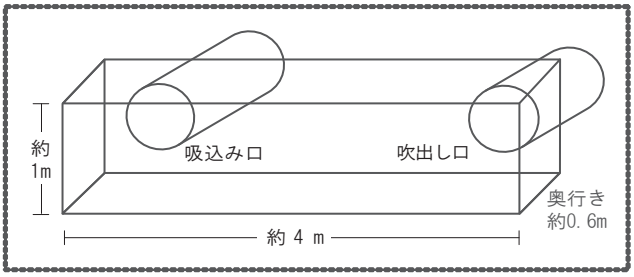
使 用 状 況

本体の吹出しと吸込みは、除湿の対象となる熟成庫（隣室）へ天井と並行にダクト接続しています。
麺生地が入っていない間は常時運転し庫内を乾燥させていますが、温湿度設定は季節によって変わり、特に冬期はその日の状況を見ながら細かく調節しています。

●建物を横から見た図



●熟成庫 約2.4㎥

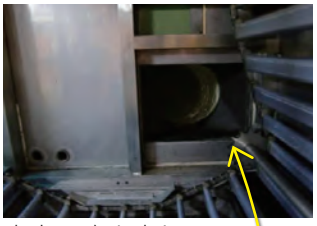


吹出し口側からみたところ。隣室の熟成庫へ配管している

吸込み口側から見たところ

本体を下から見たところ

室外機 RAS-NP3T


庫内の吹き出し口

熟成庫

食品・水産　水産加工場 魚の粉砕機械室の除湿

納 入 先

ヤマト食品株式会社 様

http://www.yamatosyokuhin.com/

駿河湾で水揚げされる桜えびやしらすなどの水産加工品を製造･販売している会社です。商品のひとつである「でんぶ※」の製造ラインに除湿機を導入しました。

※でんぶ：魚の身を細かくして味を付けたもの。
　ちらし寿司の具などに使われる「桜でんぶ」が有名。

RK-NP5LT

室外機 RCR-NP5T

納入先情報

●所 在 地：静岡県静岡市
●業　　種：水産加工食品の製造販売
●対象面積：粉砕機械室 33㎡＋44㎡
●納入時期：2010年 6月

納入製品

RK-NP5LT　1台
RCR-NP5T　1台

オプション品：背面吸込ダクトセット
丸ダクト接続用ダクトチャンバー（上吹きで使用）
高性能フィルター
コントロールタイマー

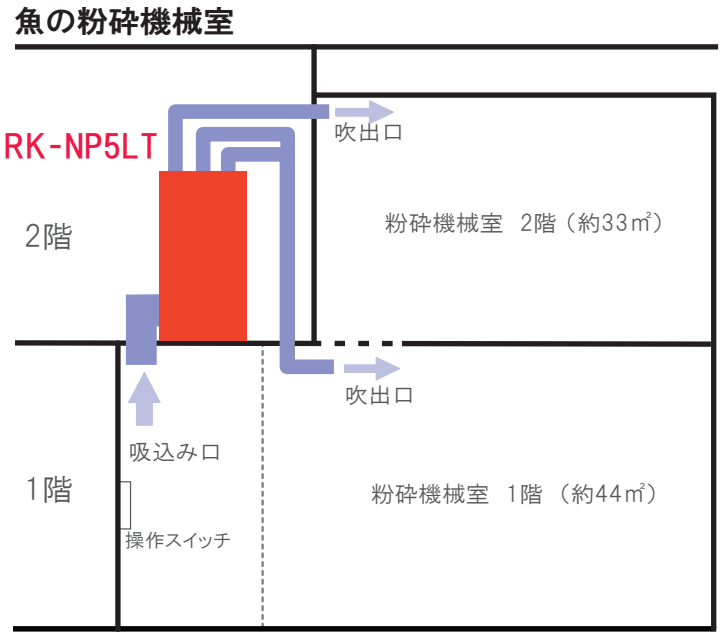
背　景

「でんぶ」の製造工程のひとつに、原料である鱈の身を細かく砕きサラサラとした状態にする作業があります。鱈はおろして加熱し、水分を絞った身を粉砕機に投入します。粉砕機が設置された部屋は原料の鱈から出る水分で湿度が高く、また害虫の混入防止のために気密性を高くしていることから結露が発生しやすい環境です。
その粉砕機械室の衛生管理と結露による機械の錆対策として除湿機を導入しました。除湿機はスペースの問題と衛生上の観点から部屋の外（廊下）に設置し、吸込口と吹出口を室内にダクト施行しました。

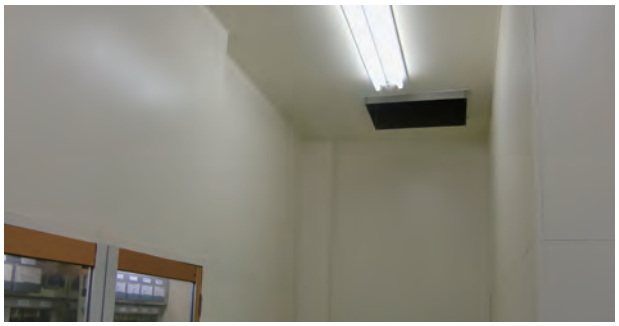
使 用 状 況

日常的な運転はコントロールタイマーにより自動で行っています。粉砕作業時間は1日6～7時間ほどですが、除湿機の運転時間は、6時間運転 → 2時間程停止 → 運転･･･というようなサイクルでタイマーを設定し、作業をしていない夜間にも除湿しています。温湿度の設定は湿度優先運転で、湿度50%、温度26℃を基準にしています。

●建物を横から見た図



除湿機本体は2階に設置し1階の空気を吸い込む (背面吸込仕様)


1階天井の吸込口

3本の吹出しダクトのうち2本は1階へ、1本は2階へ

遮へい板 (オプション付属品)で
正面の空気吸込口を遮へい

コントロールタイマー

除湿機の操作スイッチは
粉砕機の操作盤（1階）の横に配線

30年にわたり冷凍機など
日立製品を多数納入

RK-NP5LT

食品・水産　製氷工場内の除湿

納 入 先

三共製氷冷蔵株式会社
鴨川漁港工場 様

鴨川漁港内にある製氷工場です。水産物を運搬するためのトラックや漁船に保冷用の氷を供給しています。

角氷を粉砕してトラックに供給しているところ

納入先情報

●所 在 地：千葉県 鴨川市
●業　　種：製氷業
●対象面積：製氷室 約400㎡ (2階建2階部分)
●納入時期：2009年 6月

納入製品

RK-NP5L　1台
オプション品：プレナムチャンバー

その他 既納製品
スクリュー冷凍機（製氷）
スクロールクーリングシステム（冷凍庫）
エアーシャワー（製氷室入口）

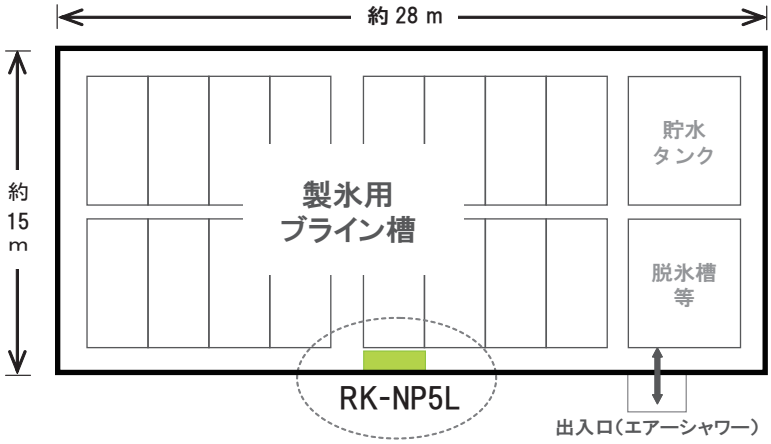
背　景

製氷室ではマイナス10℃のブライン槽で1日約70ﾄﾝの角氷を製造しています。室内は低温で気密性が高い環境です。夏期は天井に結露が発生しやすいため、その対策として除湿機を導入しました。

使 用 状 況

常時製造しているため除湿機も24時間連続で運転しています。室内に空調機はありません。
室内の温度は夏期で約15℃、冬期で約4℃。設定湿度は35～40%です。

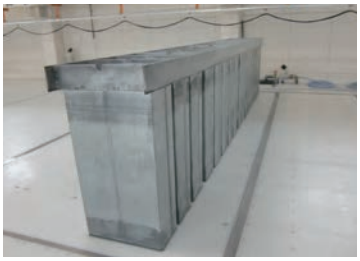
●2階 製氷室 約400㎡

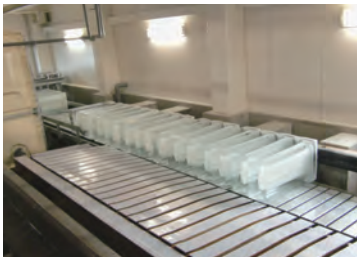


製氷用の冷凍機

製氷用アイス缶。この中に水を入れマイナス10℃で凍らせる

製氷室内。空調設備はない




出来上がった氷

氷保管用の冷凍庫。
写真上部はユニットクーラー

天井の結露対策として導入。白い床板の下が製氷用ブライン槽になっている

RK-NP5L

食品・水産

食品包装エリアの除湿

納 入 先

仙波包装
株式会社 様
http://www.senbahoso.co.jp/

食品メーカーなどから委託を受け、様々な食品包装を行っています。湿気を嫌う粉末製品を数グラム単位で充填する作業もあり、食品の品質管理を目的に除湿機を導入しています。

左：RK-NP10LT1（除湿機）　右：RP-NP450CSP1（パッケージエアコン）

納入先情報

●所 在 地：栃木県
●業　　種：食品包装の受託業
●対象容積：約420m³
●納入時期：2011年 4月

納入製品

RK-NP10LT1（背面吸込仕様）　1台
RCR-NP10T　1台

その他
設備用床置セパレート型パッケージエアコン

背　景

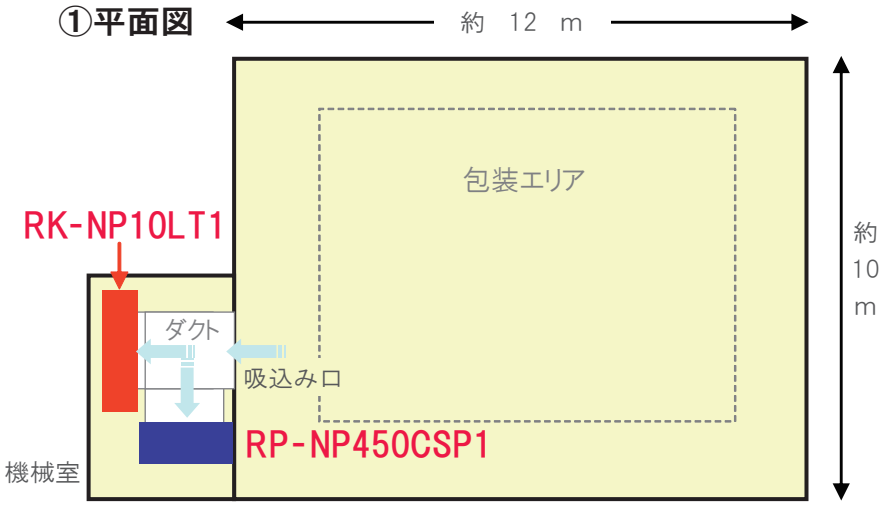
包装の委託を受ける代表的なものとして粉末スープの素やフリーズドライ製品・液体スープなどがあります。
これらは特に湿気を嫌うものや急激な温度変化を避けなければならないものであるため、これまでは恒温恒湿制御で室内の温湿度を管理していましたが、省エネのための見直しを行った結果、品質管理と省エネ性の両方を取り入れた除湿機とパッケージエアコンの組み合わせを採用しました。

使 用 状 況

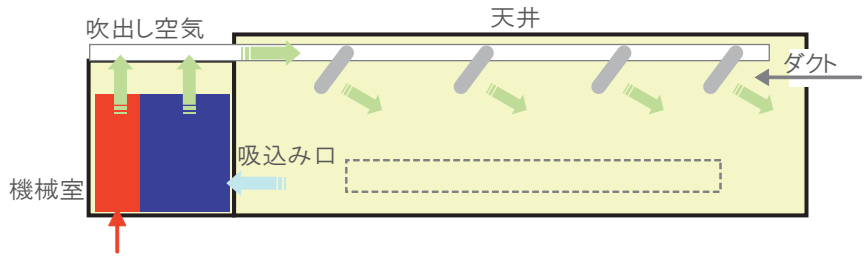
除湿機とエアコン、それぞれの吹出し空気を混合し、ソックダクト（布製フィルター）を介して室内に送っています。湿度を下げるのはもちろんですが、湿度が低すぎると静電気が発生してしまい、また温度が低すぎると包装機が冷えて熱を利用する行程に支障を来すため、それらの条件に合わせた温湿度設定で運転しています。食品の品質を守るためには大きな温湿度変化を避けなければならないことから、除湿機とエアコンは24時間運転しています。

●食品包装エリア　約420m³　（高さ：約3.5m）

①平面図



②側面図



吹出し空気はソックダクト(現地準備品)を通すことで、無風に近い状態を作っている。粉末製品の保護、機器の誤作動防止、防塵および体感温度の改善などに効果的。

除湿機とパッケージエアコンは隣接した機械室に設置
左：RK-NP10LT1　　右： RP-NP450CSP1

室内壁面の吸込み口

精密機器
工 業

精密機器設置(保管)室の除湿

納 入 先

新日本非破壊検査株式会社 様

http://www.shk-k.co.jp/

物を壊すことなく内部を検査する「非破壊検査」の請負業務を北九州を中心に全国規模で行っています。主に建設会社やガス会社、電力会社などから検査依頼を受け、建築物やガスタンク・配管などをはじめとした様々な産業構造物の非破壊検査を50年にわたり行っています。

納入先情報

●所 在 地：福岡県北九州市
●業　　種：非破壊検査を中心とした検査請負業 他
●対象面積：地下エックス線照射室 兼 精密機器保管室 約35㎡
●納入時期：2010年 10月

納入製品

RK-NP3LT　1台
RCR-NP3T　1台
オプション品：プレナムチャンバー

背　景

非破壊検査の代表的な方法にエックス線を用いた手法があり、ガスタンクや配管などの溶接部分に未溶着部や割れなどが無いか、対象物をエックス線撮影して検査を行っています。
この会社の地下には検査のための「エックス線照射室」があり、そこではエックス線検査およびエックス線を発生させる装置を保管しています。地下室はコンクリート構造で気密性が高く低温高湿な環境であるため、湿気によるエックス線発生装置の錆や品質の劣化を防ぐ目的から除湿機を導入しました。

使 用 状 況

エックス線発生装置は日頃は外部での検査のため持ち出していることが多いですが、使用していない間は地下照射室に保管しています。地下室は人の出入りが少ない状況で空調機はありません。室内は湿気が多いため、設置（保管）した装置の錆対策を含めた品質の維持を目的として除湿機を使用しています。室内の湿度は80%以下になるようにし、夏季には冷房としても使用できるよう冷却機能付機を採用しました。

●エックス線照射室 約35㎡

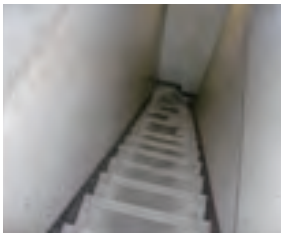
RK-NP3LT

コンクリート構造の地下照射室。エックス線発生装置の保管場所でもある。

エックス線発生装置 (高エネルギー放射線発生装置)

除湿機本体の配管

室外機 RCR-NP3T



検査台。吊るして撮影する

精密機器
工　業

鋼板加工工場の除湿

納 入 先

鋼板加工工場 様

関西のコイルセンター※ のひとつとして、建材や自動車部品などの材料になる薄鋼板をユーザーの要求に応じて切断加工･販売しています。コイル状に巻いた鋼板の錆対策として除湿機を導入しました。

※コイルセンター:メーカーが製造した鉄鋼を加工し流通させる拠点

納入先情報

●所 在 地：大阪府
●業　　種：鋼板加工・販売
●対象面積：鋼板コイル保管エリア 約1130㎡ 他3箇所
●納入時期：2010年 7月

納入製品

RK-NP5L　合計12台
オプション品：プレナムチャンバー

背　景

こちらの室内はやや多湿で結露が発生しやすい状況です。結露による水滴がコイルに付着すると錆の原因となり、一度錆びたコイルは再生ができないため大きな損害に繋がる可能性があります。
錆の対策のために３つのエリアに合計12台の除湿機を設置し、湿度管理を行っています。

使 用 状 況

設定湿度50～60%にて、1日約12時間運転しています。

結露による鋼板の錆対策として合計12台の除湿機を導入

精密機器
工 業

カメラ部品 品質測定室の除湿

納 入 先

株式会社 コシナ 様

http://www.cosina.co.jp/index.html

長野県に4カ所の事業所を構える光学レンズメーカーです。
世界的に有名な光学メーカーと提携し、常に精度の高い製品を提供し続けています。
カメラレンズの部品の品質を確認する「測定室」に除湿機を導入しました。

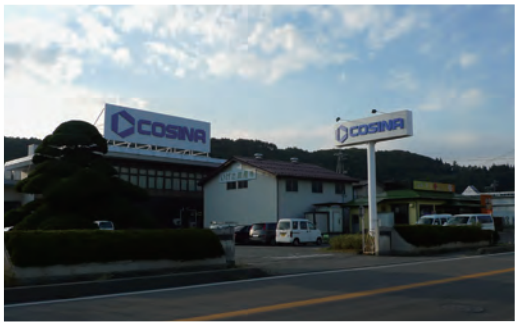
納入製品

RK-NP08PV　1台

その他
・新設 簡易恒温（恒湿）用パッケージエアコン
　　冷媒レヒート型
　　RP-NP80RE ［室内機］
　　RCR-NP80RE ［室外機］
・既設 業務用除湿機　RK-NP08PV
　　設備用パッケージエアコン
　　RP-NP250NVP[一体型]

納入先情報

●所 在 地：長野県
●対象容積：品質測定室
　　約163m³（面積65m²）他
●納入時期：2012年 10月



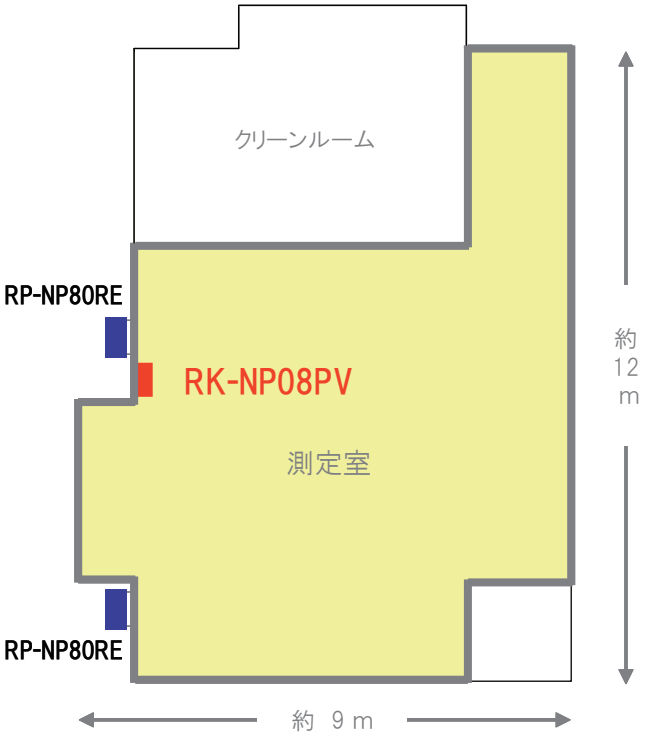
背　景

レンズを構成している部品は、組み立て前に3次元測定機による品質チェック(形状の計測)を受けます。
温湿度の条件により、わずかではありますが部品に膨張やゆがみが発生する可能性があるため、湿度が上昇すると正しい計測ができません。
精密さが要求される製品を一定条件のもとで計測できるよう、除湿機を導入して湿度管理を行っています。

使 用 状 況

室内は、温度23℃ 湿度40～50%を目標にしています。除湿機の湿度設定は44%で運転しています。

●測定室（新設）　約163m³　（面積約65m²　高さ：約2.5m）



新設の測定室。除湿機と簡易恒温（恒湿）用
パッケージエアコンで温湿度を管理

電源は単相100V仕様

ドレン配管の様子

既設の測定室（別室約60㎡）では除湿機と
設備用パッケージエアコンを併用

農　業
木材乾燥

トマト栽培用 ビニールハウス内の除湿

納　入　先

有限会社 小山グリーンズ 様

小山市にてトマト農園を営むと同時に、花や苗・肥料などを扱う園芸センターを経営し、同業者への指導者としても地域の農業に大きく貢献されています。

納入先情報

●所 在 地：栃木県 小山市
●業　　種：農場経営・苗種販売
●対象面積：ビニールハウス約200坪 2棟
●納入時期：2009年 7月、11月

納入製品

RK-NP3L　2台
※ビニールハウス1棟あたり1台

背　景

農作物が順調に育つためには環境づくりがとても重要です。こちらのトマト農園ではハウス内を最適な温湿度に近づけるために、除湿機をはじめとした様々な設備を取り入れています。以前は冬期の暖房に重油を使用していましたが、価格高騰をきっかけに重油以外の設備の導入を試み、その中のひとつとして除湿機を取り入れています。

使 用 状 況

トマト農園･園芸センターともに冬期夜間の除湿を目的としています。タイマーを取り付け自動的に夜間運転を行い、ダクトで風向の調節をしています。ハウス内の湿度は70～80%を維持しています。

●トマト栽培用ビニールハウス イメージ図

●花・苗用ビニールハウス(園芸センター) イメージ図

農 業
木材乾燥

たまねぎ乾燥処理・保管倉庫の除湿

納 入 先

たまねぎ生産農家 様

佐賀県白石地区は1450軒ほどの生産農家があり、1軒あたりの作付面積は96アール、生産量50トンを平均的に生産しています。収穫したたまねぎは乾燥させて貯蔵し、その後順次出荷します。
その乾燥・貯蔵用のビニールハウスに除湿機を導入しました。

納入先情報

●所 在 地：佐賀県 白石町
●業　　種：たまねぎ生産
●対象面積：たまねぎ保管用ビニールハウス 約90㎡
●納入時期：2010年 5月

納入製品

RK-NP5LT　1台
RCR-NP5T　1台
オプション品：丸ダクト接続用チャンバー

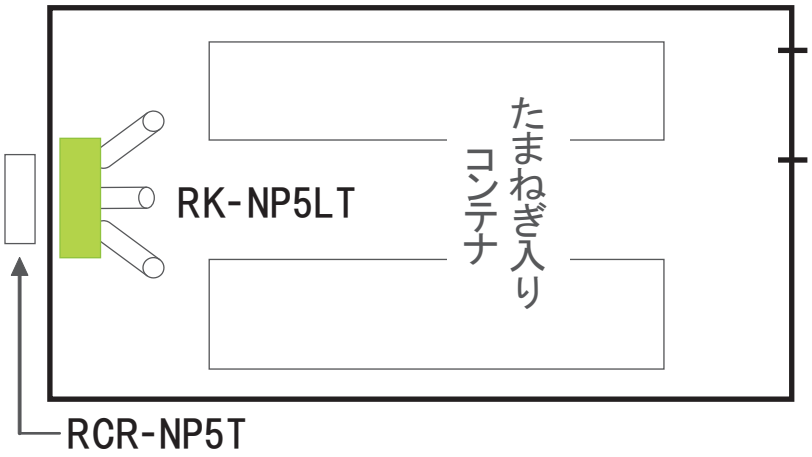
背　景

通常、収穫したたまねぎは出荷するまでの間貯蔵しますが、切り口から病原菌が入らないように乾燥させる必要があり、従来はたまねぎを吊るして乾燥・貯蔵する「吊り玉」と呼ばれる方法で保管されていました。しかしこの方法では、作業に手間がかかることや自然乾燥のため天候に左右されやすい等の理由から、最近ではビニールハウスや貯蔵庫で除湿機を使用して乾燥・貯蔵する方法が増えています。こちらの農場では吊り玉を継続しながら、この保管方法を取り入れています。

使 用 状 況

4～6月は湿度を50%に設定し、主に乾燥を目的として使用しています。
7～9月は主に貯蔵を目的とし、冷却運転で温度調節をしながら保管しています。

●たまねぎ保管用ビニールハウス 約90㎡



従来ながらの吊り玉乾燥も続けています

除湿機を使用することでコンテナを用いた乾燥・貯蔵が可能

室外機 RCR-NP5T

丸ダクトの吹出口にビニールダクトを取付けて使用

作業風景

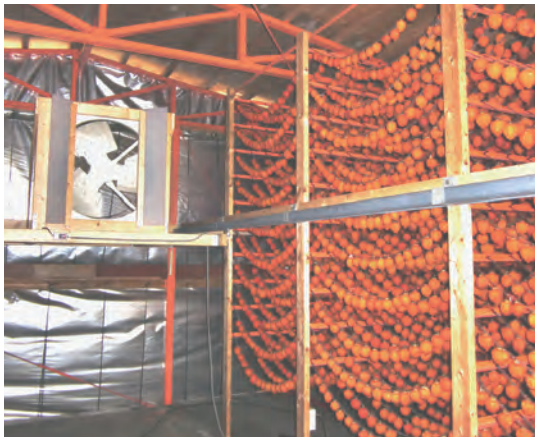
あんぽ柿（干し柿）の除湿乾燥

納 入 先

あんぽ柿生産地域

福島県の特産品“あんぽ柿”は平核無 (ひらたねなし) や蜂屋柿 (はちやがき) といった「渋柿」の皮を剥いて干したものです。特にこちらの伊達地方は“あんぽ柿”の発祥の地であり、多くの農家が冬場の産業として“あんぽ柿”を生産しています。各農家にある干し場 (柿を干して乾燥させる部屋) に除湿機を導入しています。

RK-NP2L (丸ダクト接続チャンバー付) 2010年11月 納入



納入先情報

●所 在 地：福島県 伊達地方
●業　　種：あんぽ柿生産

背　景

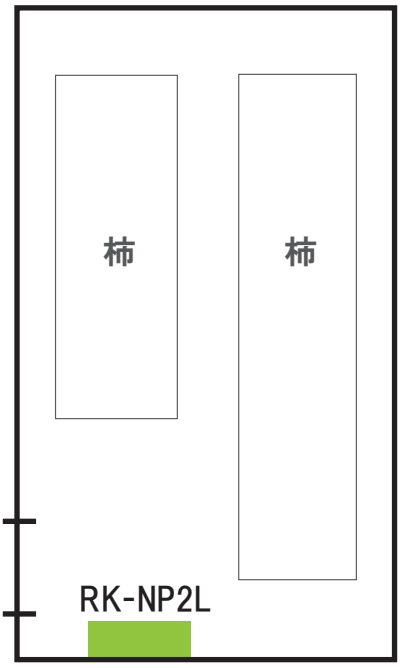
渋柿は低温で干すことにより甘みが引き出され中がゼリー状になります。
あんぽ柿の生産は冬期のみで、柿を干す作業は11月頃からはじまり12月には最盛期を迎えます。
元来は自然乾燥で1ヶ月以上の日数を必要としましたが、天候によっては日数がかかりすぎ、さらに出荷の計画がたてにくく生産量が限られてしまうため、現在は天候に応じて扇風機で風を送る方法が主流です。さらに雨天時には干し場を締め切り、扇風機と除湿機を併用するところが増えており、こちらの地域でも12年ほど前から日立除湿機の導入が進んでいます。

使 用 状 況

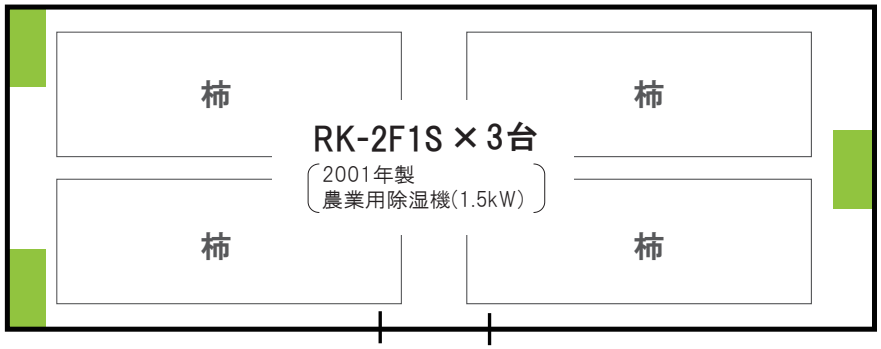
1回の乾燥期間は約2週間ですが、天候がよく風が吹いている日は除湿機は使用せず、雨天時や湿度が高い日のみ運転させています。運転時の設定湿度は30%、もしくは湿度に関係なく運転を継続させる連続運転にて使用し、運転時間はその日の状況に応じて適宜調節しています。

●あんぽ柿加工 柿の干し場 (2例)

▼ 約18坪



▼ 約65坪



扇風機と除湿機で乾燥させる

干し場は地面から1メートルほど高くして
風通しをよくしている

左：2001年製 農業用除湿機 RK-2F1S(1.5kW)×3台
右：梱包して出荷される商品

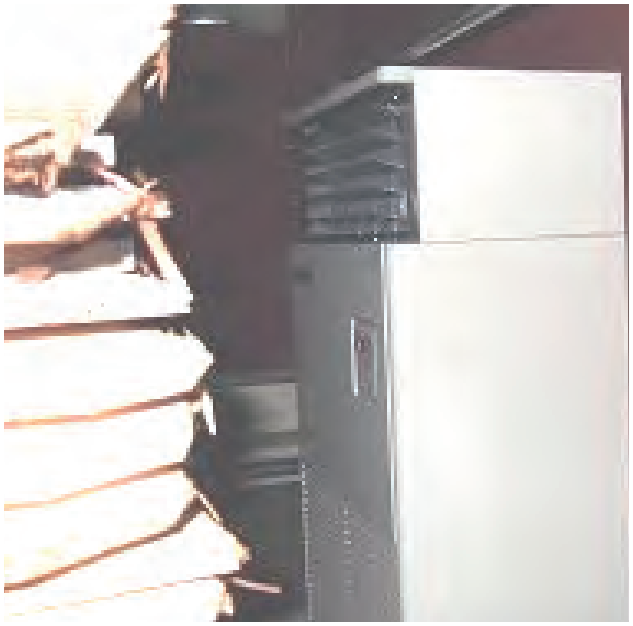
注）あんぽ柿は硫黄で燻蒸してから干す場合があります。
　　少量の硫黄ではありますが通常の使用に比べ製品が早く劣化するケースがありますので導入の際は各支店担当者へご相談ください。

木材乾燥室 木材の除湿乾燥

納 入 先

木材加工所 様

こちらの木工所ではヒノキやブナを加工して“しゃもじ”などの木工品を製造しています。



RK-NP2L 乾燥室内

加工品の一部。
乾燥が不十分だと加工中に亀裂が入ってしまいます。

納入先情報

●所 在 地：岐阜県 中津川市
●業　　種：木材加工業
●対象面積：木材乾燥室 約8㎡
●納入時期：2009年 12月

納入製品

RK-NP2L　1台
オプション品：プレナムチャンバー

背　景

岐阜県では古くから木工産業が盛んです。材料となる木は、伐採した直後は水分が多く、そのままでは加工中に亀裂や歪みが出てしまいます。そのため、加工に適した状態まで乾燥させる必要があり、その乾燥に除湿機を利用しています。

使 用 状 況

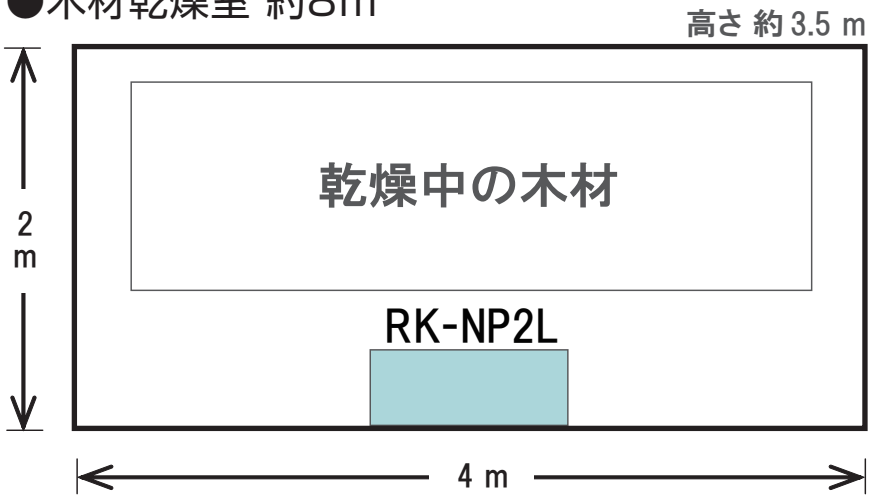
木材は板状に加工し乾燥室内に積み上げ、設定湿度35～40%で、7～10日間運転して乾燥させています。

この中で木材を乾燥させています

乾燥中

乾燥後

●木材乾燥室 約8㎡



注）木材から酸性ガスが発生する場合があり、通常の使用に比べ製品が早く劣化するケースがあります。木材乾燥用に導入される際には、各支店担当者へご相談ください。

倉庫・書庫　医薬品保管倉庫の除湿

納 入 先

株式会社 丸総
清水物流センター 様

http://www.marusoh.net

静岡県を拠点に運輸事業・倉庫事業等を展開している総合物流会社です。新しく完成した3階建て物流センター（延床面積4,500坪）に除湿機を導入しました。

納入先情報

●所 在 地：静岡県
●対象容積・面積（1～3階）：
　各階 約29,700m³ / 約4,950m²
　合計 約89,100m³ / 約14,850m²
●納入時期：2013年10月

納入製品

RK-NP3L1　16台
オプション品：　プレナムチャンバー

その他
・パッケージエアコン（冷房専用機）
　RCI-AP140K4　（室内ユニット）40台
　RAS-AP280EA1　（室外ユニット）20台

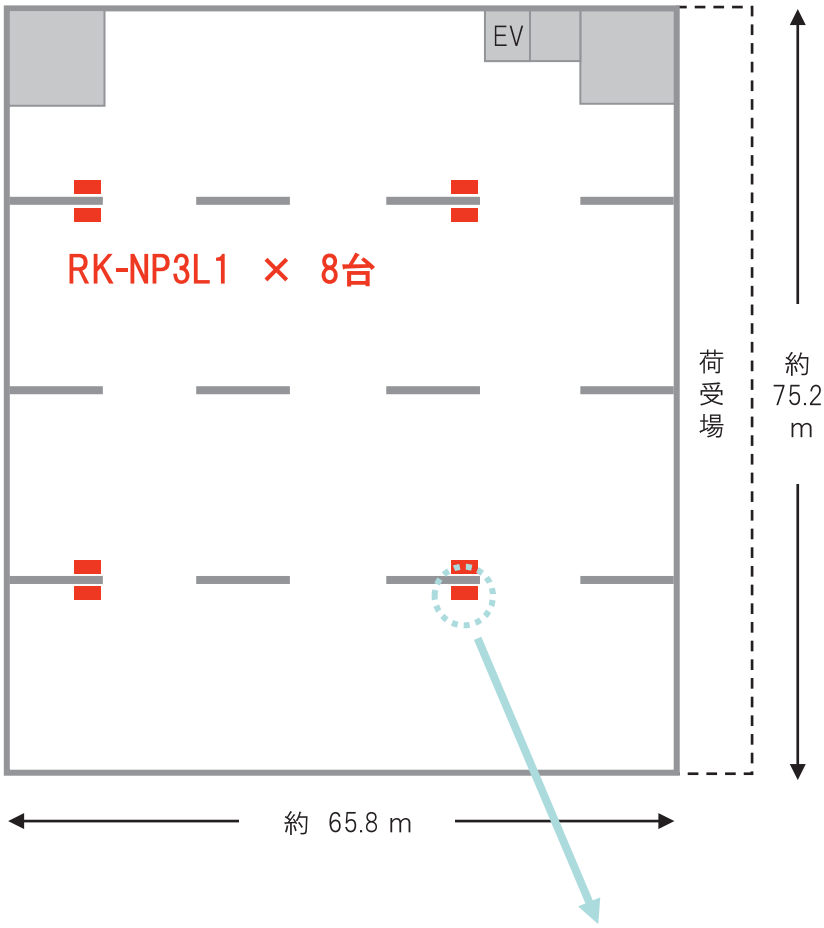
1階　除湿機 8台
2階　除湿機 4台、パッケージエアコン（室内ユニット）16台
3階　除湿機 4台、パッケージエアコン（室内ユニット）24台

1階へ設置したRK-NP3L1（プレナムチャンバー付）
※製品下部は運搬用角穴で、化粧カバーを取り外した状態です。

背　景

新しく完成した物流センターは現在、製薬会社から寄託される医薬品の受け入れに向けて準備中です。
建物は耐火性の壁材や防火シャッターなど顧客の製品をより安全に守るための設備が整っています。
同時に保管物の品質保持には温湿度の管理が重要であり、さらに多湿や結露により紙製の梱包材が痛みやすくなる恐れがあることから、湿度管理のために除湿機を導入されました。

●3階建て1階部分 容積・面積 約29,700m / 約4,950m（高さ：約6m）



3階に設置したRK-NP3L1（プレナムチャンバー付）

2～3階のみエアコン（てんかせ4方向）を設置。
1階へは上階の冷気を降ろし30℃以下を保つ。
3階は屋根からの熱を考慮しエアコンの台数を増やして温度の上昇に対応。

1階は荷受時に外気の侵入が多くなるため除湿機の台数を増やして湿度の上昇に対応。湿度の条件は70%以下。
主に梅雨時期から夏季に除湿機を稼動する予定。

倉庫・書庫　オフィス内書庫の除湿

納 入 先

電気設備工事会社 様

鉄道用信号機などの電気設備工事を請負っている会社です。
オフィスを新築した際、各階の書類を保管する部屋に除湿機を設置しました。

RK-NP08PV

納入先情報

●所 在 地：宮城県 仙台市
●業　　種：電気設備工事業
●対象面積：事務所4階 書庫 約28㎡　他3箇所
●納入時期：2009年 9月

納入製品

RK-NP08PV　4台
オプション品：キャスターワゴン (CW08-1)

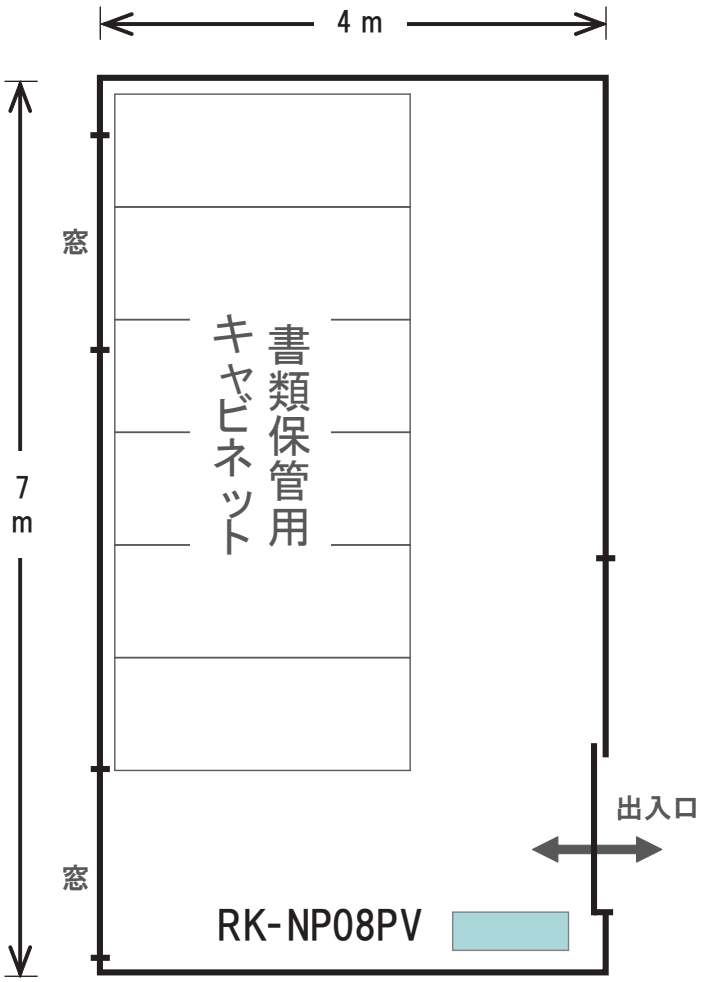
背　景

書庫には空調設備がなく、温湿度管理は行われていませんでしたが多湿になる時期のカビ対策として小型除湿機を設置しました。移動して使用することを想定してオプション品のキャスターワゴンを取り付けました。

使 用 状 況

湿度の状況に合わせ設定湿度30～40%で適宜運転しています。

●4階 書庫 約28㎡



キャスターワゴン (オプション品)
中にタンクが収納されています。ドレン水はタンクに溜めて排水するため、ドレン配管工事が不要です。

倉庫・書庫　文化財収蔵庫の除湿

納 入 先

福澤記念館 様

「学問のすゝめ」の著者である福澤諭吉に纏わる貴重な資料が見学できる記念館です。
ここ大分県中津市は福澤諭吉が幼少の頃に過ごした地であり、記念館隣にはそのころの旧居が今も残されています。

左：RK-NP08PV　右：RPV-AP80K

納入先情報

●所 在 地：大分県中津市留守居町(財)福澤旧邸保存会
●対象面積：文化財資料収蔵庫 約16㎡
●納入時期：2010年 12月

納入製品

RK-NP08PV　1台
オプション品：丸ダクトセット・キャスター
その他：床置パッケージエアコン
（RPV-AP80K）

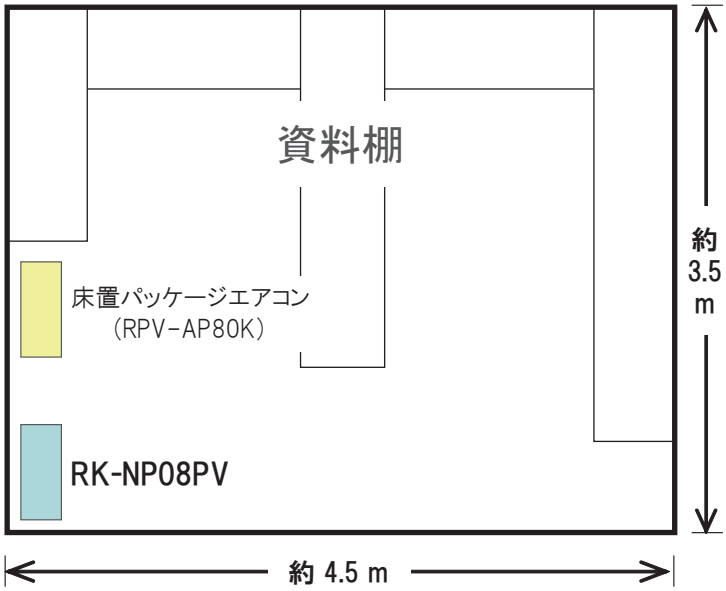
背　景

記念館のリニューアルにともない、これまで所有していなかった収蔵庫を増築しました。福澤諭吉ゆかりの掛け軸や写真等、貴重な資料を保管していますが、これらは長期にわたるとカビや害虫による劣化が考えられます。カビが発生しにくい環境を作るためには湿度の調節が必要であることから除湿機導入に至りました。

使 用 状 況

収蔵庫は観覧目的ではないため窓がなく、通常は消灯し人の出入りも少ない状況です。除湿機の湿度設定は54%、エアコン温度設定は22℃で、除湿機・エアコンともに24時間運転しています。

●収蔵庫 約16㎡



収蔵庫内

RK-NP08PV

丸ダクトセット（オプション品）

収蔵庫の扉

クリーニング工場内 # 衣類保管庫の除湿

納 入 先

東日本ホールセール株式会社 様

http://www.eastjapan-ws.co.jp/

全国に顧客を持ち、日本で初めてクリーニング品の保管サービスを開始したクリーニング工場です。クリーニング品保管庫の湿度管理を目的に除湿機を導入しました。

クリーニング品保管庫

RK-NP5L

納入先情報

●所 在 地：群馬県前橋市青梨子町
●業　　種：ドライ等クリーニング及び保管
●対象面積：クリーニング品保管庫　約600㎡
●納入時期：2010年 5月

納入製品

RK-NP5L　2台

オプション品：プレナムチャンバー
コントロールタイマー
木台

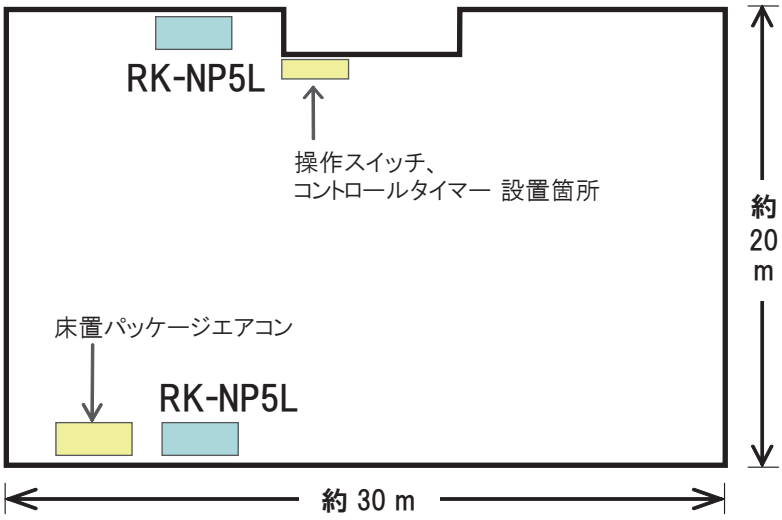
背　景

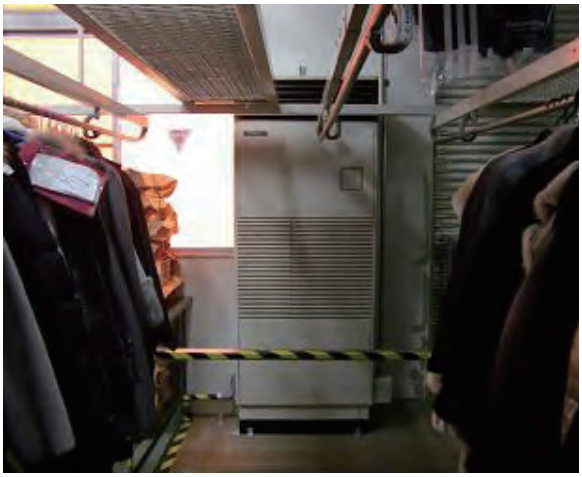
工場の3階部分が保管庫になっており、ここでお客様からお預かりしたクリーニング品を保管しています。こちらの会社ではドライクリーニングが完了した衣類を、次の衣替えの時期まで無料で保管するサービスを提供しており、多いときには8万点にもおよぶ衣類を数ヶ月間保管します。保管品は温湿度条件によっては劣化（主にカビが発生）する可能性があるため、除湿機で庫内の湿度管理を行うことで、よりよいサービスの向上に取組んでいます。

使 用 状 況

コントロールタイマーによる自動運転を行っており、運転時間は1台はPM3:30～0:00、もう1台はPM4:00～0:30に設定しています。カビを抑制する環境にするために、庫内の基準を温度20℃、湿度55%とし、運転時の設定湿度は54%で使用しています。

●衣類保管庫 約600㎡ 高さ約3.6m





フロアを上下に仕切り収納スペースを確保
集荷したばかりの衣類もここで一時保管する

壁に設置された操作スイッチと
コントロールタイマー

洗いやアイロン仕上げのフロア

その他

大学研究室 レーザー研究室の除湿

納 入 先

大 学
レーザー研究室 様

レーザー光の伝わり方などを研究している大学の研究室です。測定機器の使用には湿度管理が必要であるため除湿機を納入しました。

納入先情報

●所 在 地：大阪府
●業　　種：大学 工学部
●対象面積：レーザー研究室 約31㎡（15.5㎡×2）
●納入時期：2009年 1月

納入製品

RK-NP08PV (B) 2台
※ブラックメタリック

他製品
「床置型クリーンユニット」 2台

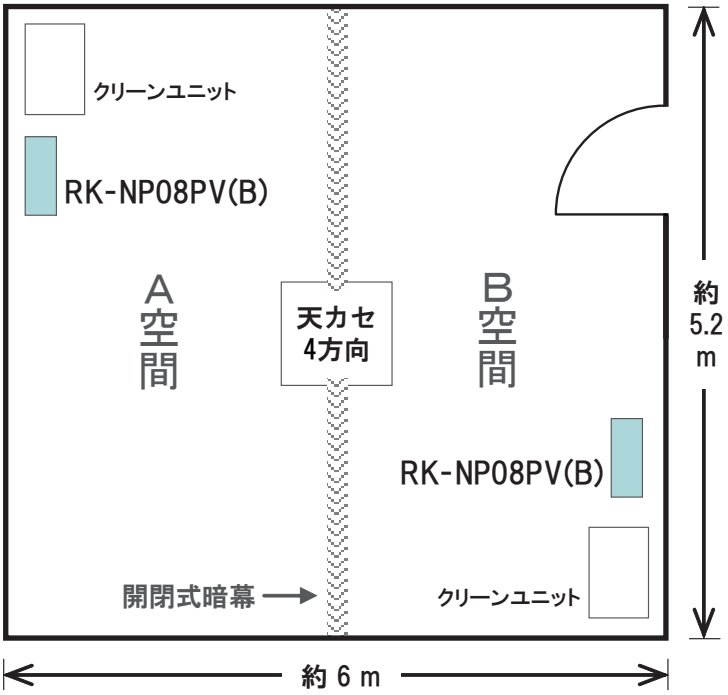
背　景

レーザー光は湿度の影響を受けることから、正確な測定のためには一定の湿度を超えないようにする必要があります。こちらの研究室は、状況に応じて部屋をふたつに仕切って使用することがあるため、それぞれの空間で湿度管理ができるように部屋の対角に小型除湿機を設置しました。

使 用 状 況

通常は部屋中央の空調機だけで湿度条件を満たしていますが、部屋を暗幕カーテンでふたつに仕切って使用する場合には、空調機だけでは適度な湿度が保てなくなるため除湿機を設置し、それぞれの空間で湿度調節をしています。

●レーザー研究室 約31㎡


クリーンユニット
RK-NP08PV(B)
A
空
間
天カセ
4方向
B
空
間
約
5.2
m
RK-NP08PV(B)
開閉式暗幕
クリーンユニット
約 6 m

クリーンユニット
RK-NP08PV(B)

浄水場 水質検査室の除湿

納 入 先

水道企業団 様

ダムや川から取り込む原水に対し基準に応じた浄水処理を行うことで、安全で良質な水道水を供給しています。原水や水道水の水質を検査する「水質検査室」に除湿機を納入しました。

RK-NP08PV

検査準備室

納入先情報

●所 在 地：九州地区
●業　　種：水道用水供給事業
●対象面積：水質検査室　約50㎡ × 3室
　　検査準備室 約150㎡ × 1室
●納入時期：2009年 6月

納入製品

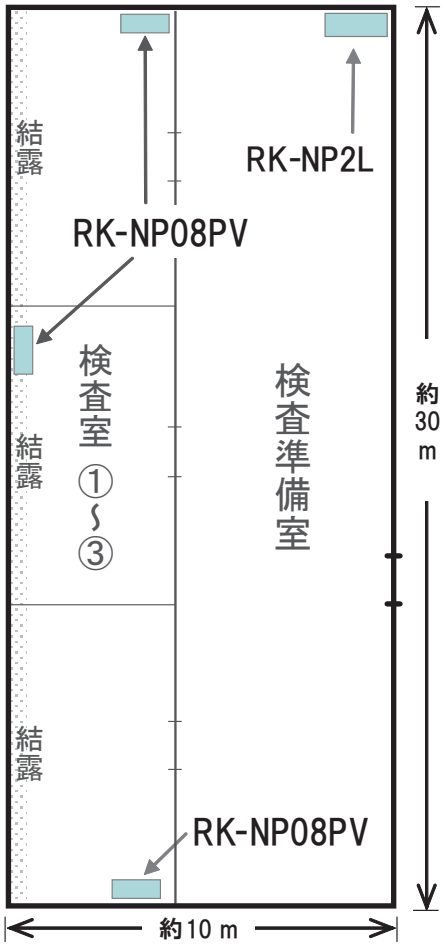
RK-NP08PV　3台
RK-NP2L　　1台
オプション品：丸ダクト接続用ダクトチャンバー

※ダクトは上吹きにて使用

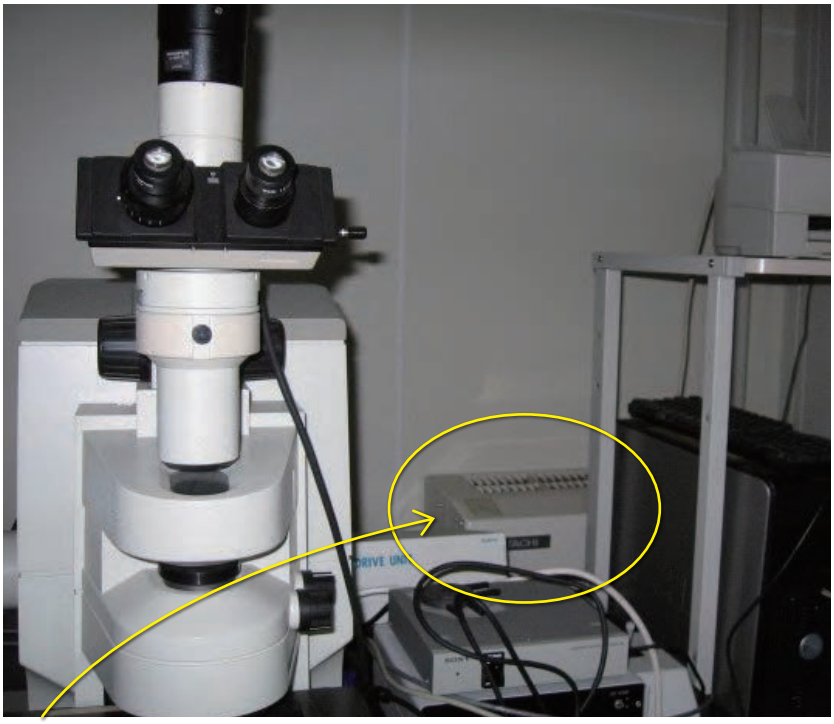
背　景

こちらの水質検査室は半地下構造となっているため、室内壁面に結露が発生しやすい状況です。
湿気が検査用の精密機器に悪影響を及ぼすため、その対策として除湿機を導入しました。

●水質検査室 4室 計約300㎡



RK-NP2L



RK-NP08PV

その他

水力発電所内 配管設備周辺の除湿

納 入 先

三峰川（みぶがわ）電力株式会社 様

http://www.mibuden.com/

南アルプスを流れる三峰川（みぶがわ）から取水している水力発電所で、発電機等の設備全般は日立製作所が手がけています。５ヶ所の発電所の中で最も大きな設備を持つ、「第一発電所」の配水管周辺に除湿機を導入しました。

高い位置の河川から鉄管で水を取り込み落下させ、
そのエネルギーで水車を回して発電させる

納入先情報

●所 在 地：長野県伊那市
●業　　種：水力発電事業
●対象面積：地下2階 約129㎡
●納入時期：2010年 6月

納入製品

RK-NP3L　1台
オプション品：プレナムチャンバー

既設品
RK-3P1 （1990～1995年頃製造）
プレナムチャンバー付 1台

背　景

水力発電所では、水が上から下へ落ちるときのエネルギーを利用して水車を回し発電します。発電方式により建屋内は地下構造になっており、地下は水深5mと同等の位置になることから壁面や床から常に水が染み出すなど、非常に湿度が高く多量の結露が発生しやすい環境です。また建屋内では機械用の油が床に落ちる場合があり、結露が多いとその油が水と一緒に排水溝から流れてしまう可能性があることから、油の流出を防ぐ手段の一つとして除湿機を導入し結露対策を行っています。

使 用 状 況

建屋内は地下構造であり常に湿度が高い環境です。湿度は40%に設定し、24時間運転しています。

●地下2階イメージ図 約129㎡ 高さ約2m

RK-NP3L

たくさんの配水管が張り巡らされている

RK-3P１（既設旧型）

水温8℃の冷却水管とその周辺。結露が多いと床に付着した油を排水溝に流してしまう可能性がある

RK-NP3L

発電機等の設備は主に日立製作所製

実際に使用されていた水車

その他

滅菌消毒室の除湿

納 入 先

リネンサプライ会社 様

病院等リネンのリースや医療用器材の滅菌業務を行っている会社です。病院で使用したハサミやピンセットなどを消毒する滅菌消毒室に天埋除湿機を設置しています。

納入先情報

●所 在 地：富山県
●業　　種：リネンサプライ業
●対象面積：滅菌消毒室 約62㎡
●納入時期：2010年 4月

納入製品

天井埋込セパレート型

RK-NP3CT　1台
RAS-NP3T　1台
※既設旧型(RK-3CI)からのリニューアル

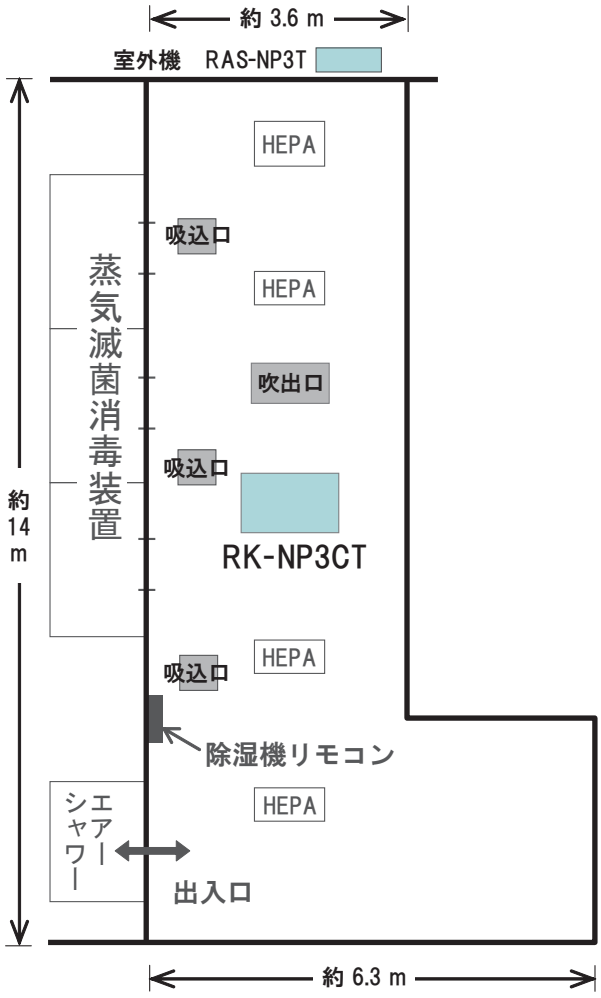
背　景

医療用のハサミやピンセットなどを高圧蒸気で滅菌消毒しています。
蒸気槽の扉を開けると蒸気が流れ出し、室内は温度・湿度ともに上昇するため除湿と冷却を兼ねた冷却機能付機を導入しています。設置場所の都合から従来より天埋型を使用しており、新型の発売を機にリニューアルしました。

使 用 状 況

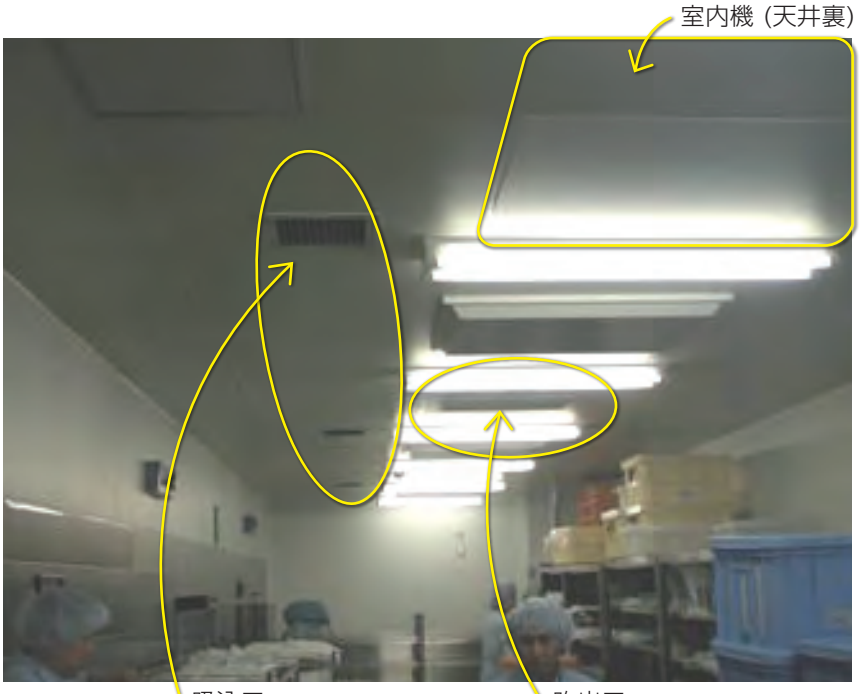
滅菌装置の扉を開放し蒸気が流れ出すと室内は湿度80%に達するため、その際に除湿機を設定湿度50% (温度23℃) にて運転します。部屋はHEPAフィルターユニットを設置しており、除湿機の吸込口は３箇所、吹出口は中央に１箇所設けています。

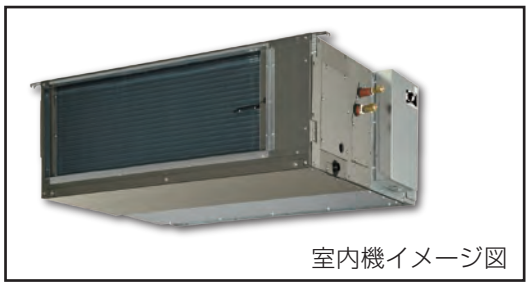
●蒸気滅菌消毒室 約62㎡



室外機　RAS-NP3T

天井　吹出口




室内機イメージ図

リモコンスイッチ

介護用具 **洗浄後の除湿乾燥**

納 入 先

サンネットワーク 三重 様

http://www.sunnetwork.co.jp/index.html

「サンネットワーク」グループは、居宅にて介護を必要とされる方を対象に、車いすや介護用ベッド等福祉用具をレンタルおよび販売しています。返却された商品の洗浄後の乾燥用として除湿機を使用しています。

納入先情報

●所 在 地：三重県松阪市小津町
●業　　種：介護用具レンタル卸
●対象容積：乾燥室 約17㎥
●納入時期：2010年 7月

納入製品

RK-NP08PV　1台

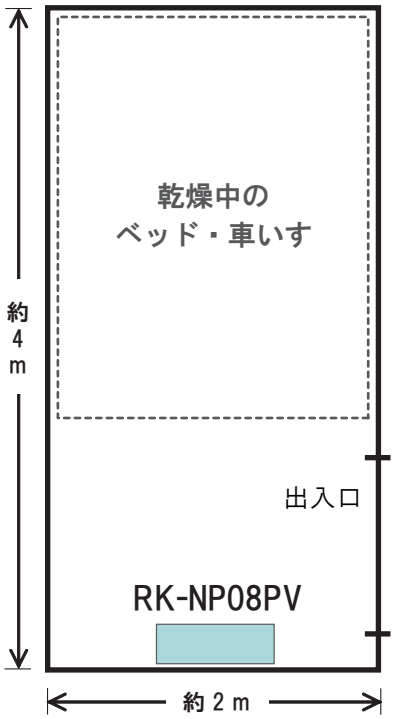
背　景

利用者から返却されたレンタル品は、洗浄や修理を施し次の出荷用に保管されます。洗浄方法は素材によって異なりますが、車いすやベッドなどのパイプ部分は水で洗浄し、その後乾燥室で充分に乾燥させます。特にパイプの中に入り込んだ水分は錆の原因になるためしっかり乾燥させることが重要です。乾燥室内はヒーターで温度を上げていますが、除湿機を併用することで乾燥時間の短縮を図っています。

使 用 状 況

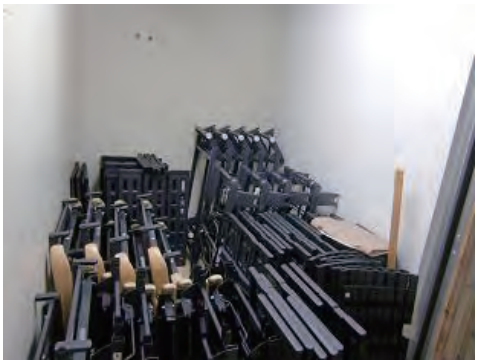
乾燥室の内部はヒーターで温度を上げているため30℃以上になります。
設定湿度は30%で運転し、一回の乾燥はおよそ3時間以内で終了します。

●乾燥室 約17㎥（高さ 約2.1m）



RK-NP08PV

乾燥中の車いす



分解され乾燥中の介護用ベッド。パイプの中に入り込んだ水をしっかり乾燥させる

洗浄スペース。電解水を使用

乾燥したものをメンテナンス及び
梱包する

梱包後は倉庫に保管。出荷を待つ

電子顕微鏡使用場所の調湿

納 入 先

独立行政法人
日本原子力研究開発機構 様

鉄などの鋼材の観察・分析を行うために電子顕微鏡を使用しています。電子顕微鏡の性能を発揮するためには温湿度を管理する必要があるため、簡易恒温用パッケージエアコンと除湿機を導入し、室内の調温調湿をしています。

納入先情報

●所 在 地：青森県
●対象容積：研究室　約247m³（面積62m²）
●納入時期：2011年 1月

納入製品

＜冷却機能付機＞
RK-NP2LT1　　[室内機]
RCR-NP2T（E）　　[室外機・耐塩害仕様] 各1台
室内機オプション品：丸ダクト接続用ダクトチャンバー

・その他
簡易恒温（恒湿）用パッケージエアコン冷媒レヒート型
RP-NP80RE　　[室内機]
RCR-NP80RE　　[室外機]

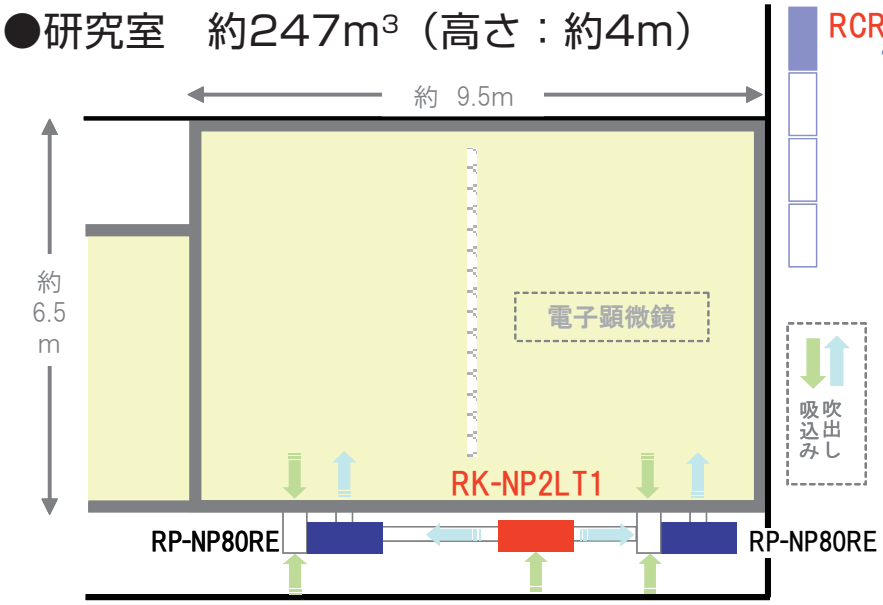
背　景

「電子顕微鏡」とは試料に電子線を照射することで非常に小さな構造（ナノレベル）まで観察できる顕微鏡です。電子顕微鏡はその特性上、周辺環境の影響を受けやすく、高い性能を発揮するためには周辺の温度を一定に保ち湿度を低くすることが重要です。
研究所の新築にあたり、より精密な観察・分析が行える環境が求められ、簡易恒温用パッケージエアコンと除湿機を組み合わせての導入となりました。

使 用 状 況

顕微鏡使用時の要求温湿度は温度23℃（±1℃）湿度50%（±10%）で、簡易恒温用パッケージエアコン・除湿機ともに常時運転しています。除湿機は湿度が60%に達したときに除湿運転（それ以外は送風運転）に切り替わるように設定し運転しています。

●研究室　約247m³（高さ：約4m）



室外機（防風セット付）

RK-NP2LT1

除湿機の吹出しは簡易恒温用パッケージエアコン（2台）の吸込口に接続

空気侵入量からの機種および台数選定

※簡易的な機種選定ですので、実際のご使用条件とは異なる場合があります。

① 室外からの空気侵入量を算出します。

- 室外からの侵入水分量を算出するにあたり、まず換気扇の有無や窓の大きさなど建物の仕様をご確認ください。
- 室外からの侵入水分量は、換気扇による侵入量とその他(窓や扉など)の侵入量の大きい値を使用します。

（1）換気扇の風量を確認してください。

▼

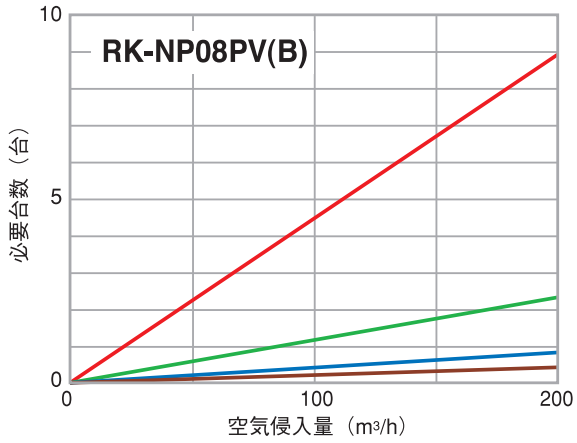
（2）扉の開閉による空気侵入量を決定します。
1.2(m³/回)×扉の開閉回数(回/時間)で決定

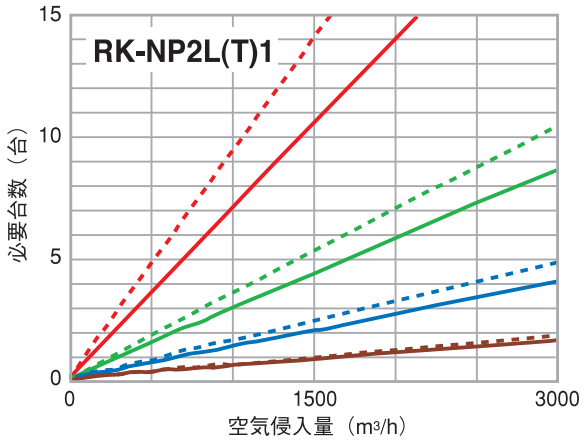
▼

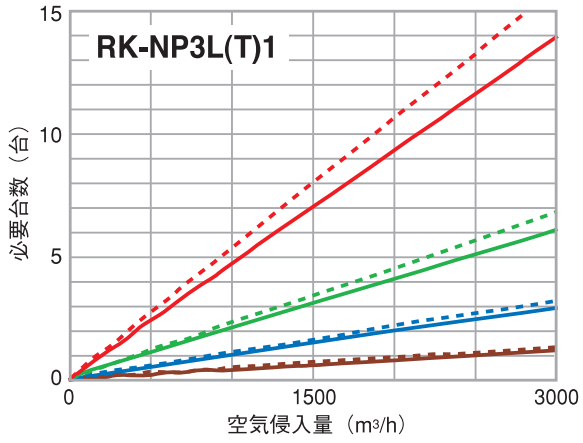
（3）窓からの空気侵入量を決定します。
窓の周辺距離から図①を利用し決定

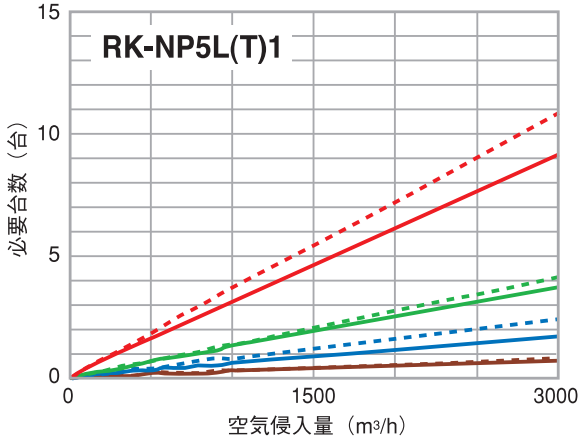
② 次に①で算出した室外からの空気侵入量(5)をもとに、下図により除湿機台数を決定します。

（設定条件）室内：温度25℃，室外：温度25℃・相対湿度80%を示します。
（注）1. その他の条件にて選定する場合は、各営業所へお問合せください。
（注）2. 除湿対象空間が大きい場合は、除湿機台数を増やしたほうが効率良く除湿が可能です。
（注）3. RK-NP08PV(B)およびRK-NP3CT・NP5CTは、定格周波数で運転した場合を示します。









50Hz　40%　60%　80%
60Hz　50%　70%

(1) 換気扇風量 (m³/h)

(2) 扉の開閉による空気侵入量 (m³/h)

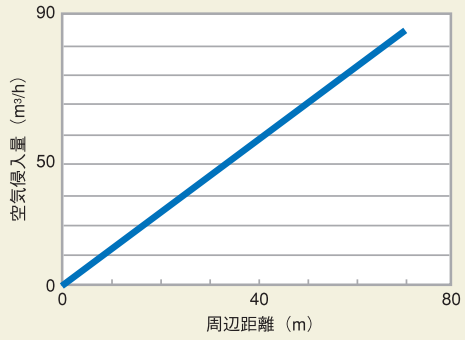
(3) 窓からの空気侵入量 (m³/h)

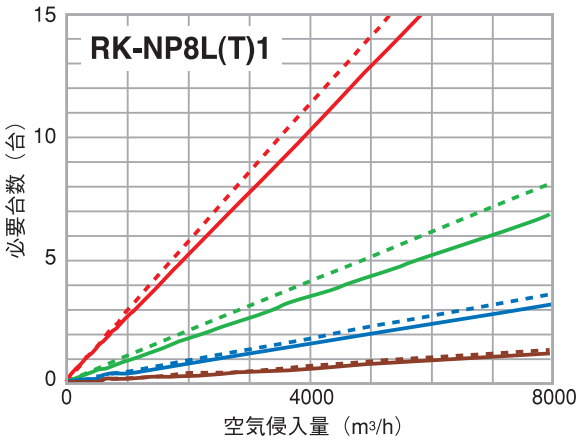
(4) 換気扇以外の総空気侵入量 (2) + (3) (m³/h)

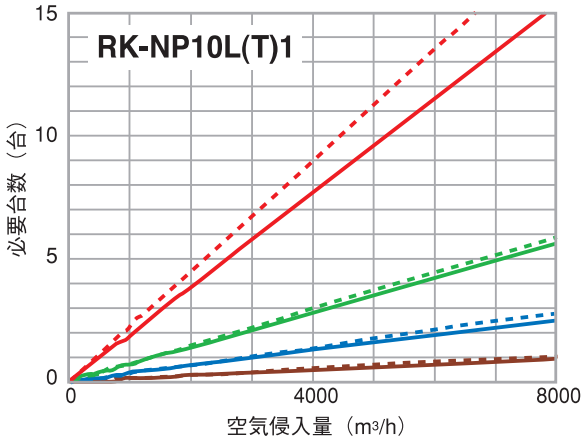
(5) 室外からの空気侵入量 (m³/h)

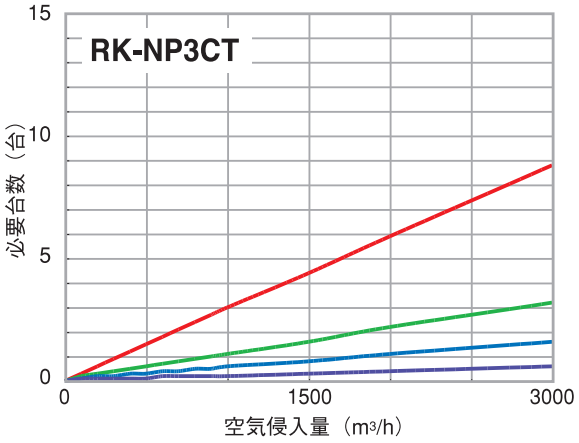
※(1)と(4)の大きい値を記入

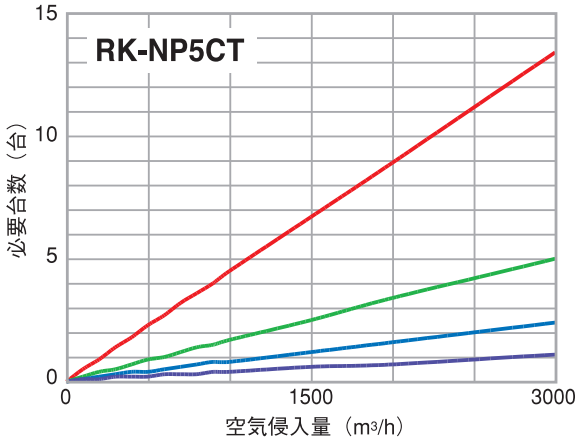
図① 窓からの空気侵入量











選定の目安

型式	RK-NP08V(B)	RK-NP2L(T)1	RK-NP3L(T)1 RK-NP3CT	RK-NP5L(T)1 RK-NP5CT	RK-NP8L(T)1	RK-NP10L(T)1
適合容積（㎥）	100 ～ 300	300 ～ 900	400 ～ 1300	760 ～ 2000	900 ～ 3000	1200 ～ 4000

（設定条件）
室内：温度25℃相対湿度60%
室外：温度25℃相対湿度80%
換気回数1回/h 室内での水分発生なしの場合を示します。
（注）50Hzの場合は、上記の80%を目安としてください。

お買い求めに際して

酸性またはアルカリ性雰囲気でのご使用
酸性またはアルカリ性雰囲気(温泉地帯の硫化ガスの多い場所、海岸地帯などの塩分の多い場所)など、一般の雰囲気と異なる場合には熱交換器などに腐食を起こす恐れがありますので設置は避けてください。

高湿度でのご使用
庫外43℃・相対湿度80%を超える高温高湿度の雰囲気で長時間運転されますと、製品本体への結露や露が落下する場合があります。また、梅雨時期は天井が高湿となり、結露が生じやすくなりますので、製品表面に断熱材の追加などが必要です。

機種選定のご注意
本除湿機は、除湿運転を行う湿度優先運転と、除湿運転と冷却運転を交互に行う温度優先運転の2モードがありますが、恒温恒湿運転はできません。
また、外気低温・低湿の条件では、除湿運転時に冷たい空気を吹き出す場合がありますが、異常ではありません。

油雰囲気でのご使用
油(機械油も含む)の飛散、蒸気の多い場所でご使用されますと、熱交換器の腐食、断熱材の剥離などを引き起こすことがあります。また、プラスチック部品は変形・破損することがありますので設置は避けてください。

防食使用の選定について
発生する腐食ガスが製品本体を傷め、機器寿命を大幅に縮めることがあります。このような環境でご使用される場合は、耐久性が高いカチオン電着塗装仕様(特注対応)をご使用ください。
※防食仕様といえども腐食や発錆に対して万全ではありません。
設置する場所や設置後のメンテナンスに十分留意してください。

運転音について
運転音は反響の少ない無響音室などの部屋で測定した定格運転時の値(Aスケール)を示します。実際の据え付け状態では、周囲の騒音や反響を受け、表示値より大きくなるのが普通ですので据え付けの時には十分ご注意ください。

安全に関するご注意

■使用対象について
- ●このカタログに掲載の商品は、国内向け除湿乾燥用途の産業用除湿機です。また、海外でのアフターサービスも受けかねますのでご了承ください。
- ◎血清・ワクチン・医療品や動植物・精密機械および美術品の保管など、特殊用途の除湿乾燥用途には絶対に使用しないでください。また、生命や財産に関わる用途、高度な安全性や信頼性を要する用途には使用しないでください。
- ◎揮発性・引火性のある薬品および類似品(たとえば、ベンジン・エーテル・接着剤・LPGなど)の貯蔵用途には絶対に使用しないでください。
引火、爆発する危険があります。

■ご使用に際して
- ●ご使用の前に、「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ●外気低温・低湿の条件では、定期的に除霜運転を繰り返し、連続的な除湿運転や冷却運転はできません。

■据え付けに際して
- ●漏電遮断器は必ず設置してください。取り付けられていないと感電・火災の原因になることがあります。
- ●据え付けは販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ、不備があると、施工不良・感電・火災の原因になります。
- ●小空間に据え付ける場合は、冷媒漏えい時の限界濃度を超えない対策が必要です。このカタログに掲載の商品に使用している冷媒(R410A)は、それ自体は無毒不燃性の安全な冷媒ですが、万が一、漏れた場合その濃度が許容値を超えるような空間では、窒息などの危険があり許容値を超えない対策が必要です。詳細は技術資料、JRA GL-13:2011(http:/www.jraia.or.jp/index.html)をご覧ください。
- ●据え付けは、強度が十分で平らな所に水平になるよう設置してください。床面が軟弱であったり、傾斜・凹凸があると、本体が傾き、転倒・水漏れの原因になります。
- ●本室内ユニットは屋内仕様です。風雨が浸入するような場所または屋外で使用されますと、漏電・感電の原因になります。
また、法的な規制もありますので、専門業者にご相談ください。
- ●車両・船舶などへの設置はしないでください。
- ●電気工事は、「電気設備に関する技術基準」「内線規定」および、据付説明書に従って施工し、必ず専用回路にし、第3種設置工事を実施してください。

■ご使用場所について
- ●可燃性ガスの漏れる恐れや引火物のあるところへは据え付けないでください。可燃性ガスの発生・流入・滞留の恐れがある場所やカーボン繊維や金属粉が浮遊する場所では火災の原因になることがあります。

■移設について
- ●移設または、増設は販売店または専門業者に依頼してください。工事に不備があると、施工不良・感電・火災の原因になります。

ご使用上の注意

- ●用途によっては腐食性ガスを発生し、熱交換器などからガス漏れが起こる場合があります。主な代表例を記載しますのでご使用にあたっては、防食仕様やメンテナンス計画を事前に検討してください。
  - 硫黄系ガス ……(例)　卵加工品の乾燥など
  - 塩分(塩水)関係 ……(例)　塩干物の乾燥など
  - 酸関係 ……(例)　木材乾燥など
- ●生ゴミは非常に強い腐食性ガスを発生させますので、保管や乾燥用途で使用しないでください。
- ●粉物などの除湿乾燥用途にご使用されますと、フィルターおよび熱交換器への目詰り、ドレン水の詰りを起こし、水漏れや機器故障の原因となることがあります。
- ●本製品は、除湿乾燥用途の産業用除湿機です。恒温恒湿用としては使用できません。

このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

日立アプライアンス株式会社　空調事業部 〒105-0022 東京都港区海岸一丁目１６番１号（ニューピア竹芝サウスタワー）

●ご購入のお問い合わせは下記へどうぞ。

北海道営業所(011)717-5301	北日本支店(022)266-1321	福島営業所(024)921-5550	関東支店050-3154-3973
北陸支店(076)429-4051	中部支店(052)251-0373	関西支店(06)6531-9205	中四国支店(082)240-6154
四国営業所(087)833-8701	九州支店(092)561-4851		

日立アプライアンス株式会社ホームページアドレス　http://www.hitachi-ap.co.jp

SR-182R　2014.7
Printed in Japan(B)